臨床研究に関するお知らせ

宮崎大学医学部附属病院感染制御部では、下記の臨床研究を実施しています。皆様には本研究の趣旨をご理解頂き、ご協力を承りますようお願い申し上げます。

研究課題名：病院感染対策に関する研究

1．研究の概要

院内感染（病院感染）対策の病院業務における重要性は近年特に強く認識されています。とくに大学病院においては、地域の中核病院としてさまざまな施設からの重症患者の受け入れが常時おこなわれており、さらに高度先進医療にともなう免疫不全の方が多く存在するため必要充分な院内感染対策を行うことが特に要求されます。院内の感染症発生状況の分析から得られた結果を通して、感染対策の推進に貢献したいと考えています。

2．目的

感染対策は病院における医療安全を守る主要な業務のひとつであり、複雑な感染症の多い大学病院においては特に重要性が高いものです。病院感染対策に関する研究により得られた結果を臨床の現場にフィードバックすることは意義深く、当院ではこれを目標とした疫学研究を行います。なお、この研究は病院感染対策に関連する新しい知識を得ることを目的とする学術研究活動として実施されます。

3．研究実施予定期間

この研究は、倫理委員会承認後から２０２６年３月まで行われます。

4．対象者

２０１０年７月から２０２５年１２月までに当院の外来受診及び入院された方が対象となります。また、「研究番号 ６０９　病院感染対策に関する研究」の方も対象となります。

5．方法

対象となる方のカルテ情報から、基本情報、血液や培養の検査結果、画像所見など、を利用させて頂きます。また、必要に応じ検査済みの培養から分離された菌株を利用させて頂きます。これらの情報をもとに疫学調査などを行い、感染対策に関する有用性を検討します。

本学における試料・情報の管理責任者：高城一郎

6．費用負担

この研究を行うにあたり、対象となる方が新たに費用を負担することは一切ありません。

7．利益および不利益

この研究にご参加いただいた場合の利益・不利益はありません。参加を拒否された場合でも同様です。

8．個人情報の保護

研究にあたっては、対象となる方の個人情報を容易に同定できないように、数字や記号などに置き換え、「匿名化された試料・情報（どの研究対象者の試料・情報であるかが直ちに判別できないよう、加工又は管理されたものに限る）」として使用いたします。

９．研究に関する情報開示について
　ご希望があれば、研究計画および研究方法についての資料を閲覧することができます。ご希望がある場合は、下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。ただし、研究の独創性確保に支障のない範囲内で情報開示を行います。

１０．研究資金および利益相反について
　臨床研究における利益相反とは、研究者が当該臨床研究に関わる企業および団体等から経済的な利益（謝金、研究費、株式、医薬品・医療機器、検査・解析サービス等）の提供を受け、その利益の存在により臨床研究の結果に影響を及ぼす可能性がある状況のことをいいます。この研究に関する経費は、実施責任者が所属する診療科の研究費で賄われます。なお、本研究の実施責任者と分担研究者は本研究に関わる企業および団体等からの経済的な利益の提供は受けていないため、利益相反はありません。

１１．研究成果の公表
　この研究で得られた研究成果を学会や医学雑誌等において発表します。この場合でも個人を特定できる情報は一切利用しません。

１２．参加拒否したい場合の連絡先
　この研究に参加したくない（自分のデータを使ってほしくない）方は下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。しかしながら、データ解析後、もしくは学会等で発表後は途中辞退することができない場合もあります。

１３．疑問、質問あるいは苦情があった場合の連絡先
　この研究に関して疑問、質問あるいは苦情があった場合は下記連絡先へ連絡をお願い致します。

宮崎大学医学部附属病院感染制御部
准教授　髙城一郎
電話：０９８５-８５-９８３４
FAX：０９８５-８５-９８３４